

# 市鳥獣被害担当部署の創設を！

民報  
おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢大手町三丁目59  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

奥州市議会12月定例会において、日本共産党奥州市議団は、5人全員が一般質問に立ちました。今号では、菅原明議員の一般質問について、紹介します。



菅原明議員

今年  
は、全国  
的にツ  
キノワ  
グマの

人里への出没が多く、全国の被害人数は、10月末までの集計で180人となっており、秋田県で61人、岩手県で42人と両県で全国の6割近くを占めています。  
菅原明議員は、今年のクマの出没状況、農作物等の被害状況、そして、狩猟免許者が高齢化していることで新規免許取得対策について、質しました。

狩猟者確保に  
取組んでいる

倉成淳市長は、今年4月から11月まで、市に寄せられた目撃・出没通報は344件で、昨年1年間の126件に比べ大幅に増えた。農作物などの被害は31件、人身被害の懸念等対応案件が12件であった。狩猟免許取得経費や、銃、ワナの購入経費

を補助し、新規狩猟者確保に向けた取り組みを行っているとして述べました。

菅原議員は「奥州市にクマが多く出没することは怖いイメージが出てくる。石川県ではクマが出没すると思われる所にドローンを飛ばして、上空からパトロールを始めている。合わせて、通学路や農家への安全策を練っているとのことである。さらに赤外線装置に接近する動物に音や光で警告し、退散させるなど、中山間地域で獣から人命を守る本気度が感じられた。基幹産業である農業を守るために鳥獣被害等を担当する専門部署が必要ではないか」と主張しました。



## 「子どもたちを殺すな！」 スタディング宣伝

## 自転車用ヘルメット 購入に助成を

菅原議員は、自転車用ヘルメットの着用が努力義務になっても、自転車乗車中の死亡者数は増加しているとして、高校生や無職の方にとっては、安全基準を満たしたヘルメットは高額なので、購入費補助を検討していただきたいと、質しました。

## 独自の補助は難しい

倉成淳市長は「県、および県内主要自治体で同様の助成を行っておらず、独自の補助は考えていない。なお、高校生を対象に絞った着用の啓発活動ができないか関係機関と協議したい」と述べました。



日本共産党  
衆院東北ブロック  
予定候補  
吉田恭子

1月5日

## 日本共産党の躍進で 自民党政治を変えよう！

1月5日、高橋ちづ子衆院議員を迎え日本共産党岩手県委員会の新春のつどいを行いました。

能登半島地震では人命救助を最優先に被災者支援に取り組もう、と菅原県委員長が呼びかけ、会場からは14万円をこえる救援募金が寄せられました。全額を被災者救援、被災自治体への義援金に送らせていただきます。



また、達増拓也知事、中野いわたて労働議長、村山民青県委員長からご挨拶をいただきました。私も東北で高橋ちづ子さんの議席を必ず守り、日本共産党を躍進させ、市民と野党の共闘で、自民党政治を変えよう、と決意を述べました。

7日11時より、国民大運動胆江地区実行委員会は、水沢・慶徳公園前にて、即時停戦！子どもたちを殺すな！「ウクライナ・パレスチナに平和を」スタンディングを45人の参加で行いました。

吹雪模様の中でしたが、多くの行きかう車から手を振って反応していただきました。（下の写真）



能登半島地震

お見舞い申し上げます

被災者救援募金に  
ご協力ください